

エコアクション21

平成30年度 環境経営レポート

活動期間 : 平成30年3月1日～平成31年2月28日
発行日 : 令和1年5月30日

「 守りたい笑顔があります 」



セロン東北は、時を見つめ、地域を見つめております。

地域に密着した安全と環境管理サービスを。



株式会社 セロン東北

〒990-2482 山形県山形市久保田一丁目8番28号

TEL 023-643-6215 FAX 023-643-6179

URL <http://www.seron.co.jp>

～ 目次 ～

1. 組織の概要
 - 1-1. 事業所及び代表者氏名
 - 1-2. 所在地
 - 1-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先
 - 1-4. 事業内容
 - 1-5. 事業の規模
2. 対象範囲・実施体制図
 - 2-1. 対象範囲
 - 2-2. 環境経営レポートの対象取組期間
 - 2-3. 実施体制図
3. 環境方針
4. 環境目標
 - 4-1. 環境目標の策定
 - 4-2. 環境目標（単年度・中長期）の設定
5. 環境活動計画
6. 環境目標の実績
 - 6-1. 二酸化炭素排出量
 - 6-2. 廃棄物排出量
 - 6-3. 誤報率（誤作動による出勤回数）
 - 6-4. 水使用量（総排水量）
 - 6-5. グリーン購入
 - 6-6. 会社周辺の清掃活動
 - 6-7. その他関連活動
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
 - 7-1. 環境活動計画の取組結果とその評価
 - 7-2. 次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 組織の概要

当社は、昭和49年9月、山形市双葉町に山形中央警備保障株式会社として、施設・誘導警備主力に警備業を開始しました。その後、平成2年9月に株式会社セロン東北へと社名変更、主力を機械警備へと移し、また営業範囲を山形県内全域へと拡大。平成15年1月に山形市久保田へ本社移転し、平成14年2月にビルメン事業部、平成19年9月には保育園事業部を開設し、現在に至っています。

1-1. 事業所及び代表者氏名

- 株式会社 セロン東北
- 代表取締役社長 大内 勇 (オオウチ イサム)

1-2. 所在地

- 本社：〒990-2482 山形県山形市久保田一丁目8番28号
- ビルメン事業部：〒990-2462 山形県山形市深町一丁目2番40号
(対象範囲外)
- 村山地域：天童営業所、寒河江営業所、村山営業所
置賜地区：米沢支社、南陽営業所、長井営業所
庄内・最上地区：酒田支社、鶴岡支社、新庄営業所
宮城県：仙台営業所
保育園事業部：セロン北保育園、セロン南保育園
(他運営受託保育園4ヶ所)

1-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：代表取締役専務 森 幸二
- 連絡担当者：渉外部長 鈴木 康雄
- 連絡先 TEL:023-643-6215 FAX:023-643-6179
Email:info@seron.co.jp URL: http://www.seron.co.jp

1-4. 事業内容

- 警備業 (施設警備、機械警備、雑踏警備、交通誘導警備、貴重品運搬警備)
- 総合ビルメンテナンス事業
- 保育園事業
- 保険事業

1-5. 事業の規模

- 設立年月日：昭和49年9月9日
- 資本金：1,500万円
- 事業年度：4月1日～3月末日
- 総従業員数及び床面積（3月1日現在）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総従業員数	441人	451人	415人
床面積	2,067㎡	2,067㎡	2,067㎡

2. 対象範囲

2-1. 対象範囲

- 対象組織：本社及びビルメン事業部
- 対象人員：203名（平成30年3月1日現在）
- 対象活動：警備業、ビルメンテナンス業、損害保険代理業(保育園事業は除く)
- 今後の対象範囲計画

平成31年度（2019年度） 天童営業所、寒河江営業所、村山営業所、仙台営業所
 令和2年度（2020年度） 米沢支社、南陽営業所、長井営業所
 令和3年度（2021年度） 酒田支社、鶴岡支社、新庄営業所

※保育園事業部については、警備業、ビルメンテナンス業での取組の定着を図った上で判断する。

2-2. 環境経営レポートの対象取組期間

- 平成30年3月1日～平成31年2月28日（12ヶ月間）

2-3. 実施体制図



3. 環境方針

環境方針

株式会社セロン東北は

「お客様と時代が求めるあらゆる安全システム、
情報サービス、環境管理サービスの提供に挑戦します」
の理念に基づき社員一人一人が環境負荷の低減を図り、
自社の行う事業活動を通じて環境保全活動に取り組みます。

《 行動指針 》

1. 電力、水資源、全廃棄物の削減活動を行うと共に、
リサイクル活動に取り組みます。
2. グリーン購入を推進します。
3. 全社員に環境保全活動への参加を促し、自ら喜んで参加できる
機会を作る事で、お客様に感動頂ける人づくりを目指します。
4. 環境関連法規を順守し、環境保全活動を推進します。
5. 事業活動をこの地で出来る事に感謝し、定期的に事業所周辺の
清掃活動を実施します。
6. 環境に配慮した商品をお客様に提供し、地域環境に貢献します。

平成 28 年 8 月 29 日
株式会社 セロン東北
代表取締役 大内 勇

4. 環境目標

4-1. 環境目標の策定

環境への取組については、以前より各事業所周辺の清掃活動やクール・ウォームビズ等を行ってきました。更なる環境活動の取組を行い、環境負荷の軽減のため、まずは目標達成を目指し、活動に取り組んでまいります。

目標の策定においては、平成28年3月～平成29年2月を基準としました。また、対象範囲としては、本社及びビルメン事業部としました。

4-2. 環境目標（単年度・中長期）の設定

	単年度目標		中長期目標	
	平成30年度 (H30.3～ H31.2)	平成30年度 (H30.3 ～H31.2)	平成31年度 (H31.3 ～2020.2)	2020年度 (2020.3 ～2021.2)
二酸化炭素 排出量	H28.3～H29.2 比 3%削減	H28年度比 3%削減	H28年度比 4%削減	H28年度比 5%削減
廃棄物 排出量	H28.3～H29.2 比 3%削減	H28年度比 3%削減	H28年度比 4%削減	H28年度比 5%削減
誤報率 (誤作動による 出勤回数)	H28.3～H29.2 比 2%削減	H28年度比 2%削減	H28年度比 3%削減	H28年度比 4%削減
水使用量	H28.3～H29.2 比 2%削減	H28年度比 2%削減	H28年度比 3%削減	H28年度比 4%削減
グリーン購入 (事務用品購入 に係る割合)	H28.3～H29.2 比 2%向上	2%以上	3%以上	4%以上
地域環境保全	各事務所周辺清掃活動 年2回以上の実施			

5. 環境活動計画

	活動・取組項目	活動の具体的内容
二酸化炭素	■電力使用量の削減	■不要な照明の消灯
		■不要な蛍光灯を外す
		■PCディスプレイを省エネモードに設定
		■暖房の温度管理(20℃)
		■OA機器・家電製品の待機電力の削減
	■ガソリン軽油使用量の削減(燃費の向上)	■エコドライブの実践
		■タイヤ空気圧の定期的なチェック・調整
		■5000 km毎にオイル交換、10000 km毎にエレメント交換の実施
		■運転日報で運行記録を把握する
	■ハイブリット車の積極的な導入	
■その他化石燃料の削減	■暖房(ストーブ)の温度設定(20℃)	
	■暖房のスイッチをこまめに切る	
廃棄物	■一般廃棄物の削減(リサイクルの推進)	■分別のルールの周知徹底
		■分別を徹底し、リサイクル率を上げる
		■コピー用紙の両面使用
		■コピーカウンター記録と管理
		■使用済み封筒の再利用
		■リサイクル製品・グリーン製品の優先購入
	■産業廃棄物の適正管理	■正しく分別されているかのチェック
	■マニフェストの管理	
サービス	■誤報率(誤作動による出勤回数)	■会議(部長会・業務会議)での呼びかけ
		■誤報に関する報告書の作成・提出
		■警備機器の点検、不良・不具合箇所の早期交換
水	■水道使用量の削減	■節水シールの貼り付け
		■洗車方法の見直し
グリーン購入	■購入率の向上	■事務用品などのグリーン調達率を向上させる
		■エコマーク商品を優先的に購入する
山形EA21関連	■清掃活動	■事務所周辺のごみ拾い、側溝清掃、草刈などの実施
	■社員への呼びかけ	■普段からエコバック、マイ箸・水筒等エコ活動の推奨
		■エコについてポスターの掲示による推進活動

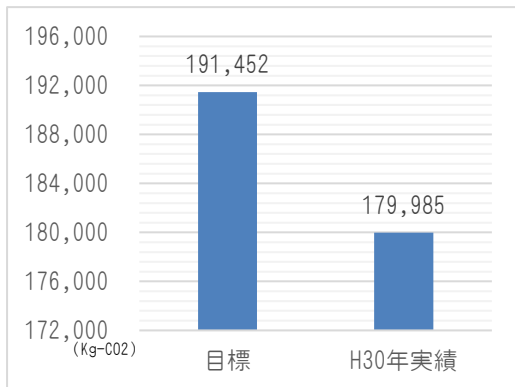
6. 環境目標の実績及び評価

		H28.3～	H30.3～H31.2 (12ヵ月分)			
		H29.2 実績(基準値)	目標値	実績	差異	評価
二酸化炭素	電力	68,473kWh	66,418kWh (3%削減)	73,181kWh	6,763kWh増加 (+10.2%)	△
	灯油	4,694ℓ	4,553ℓ (3%削減)	4,679ℓ	126ℓ増加 (+3%)	△
	L P G	64 kg	62 kg (3%削減)	80.7 kg	18.7 kg増加 (+30%)	×
	ガソリン	63,406ℓ	61,503ℓ (3%削減)	54,778ℓ	6,725ℓ削減 (-11%)	◎
廃棄物	一般 廃棄物 (紙類)	3,290 kg	3,191kg (3%削減)	1,418 kg	合計比較 1,209 kg増加 (+38%)	×
	一般 廃棄物 (紙類以外)	—	—	2,982 kg	—	—
	産業 廃棄物	3,405 kg	3,303 kg (3%削減)	118 kg	3,185 kg削減 (-96%)	◎
誤報率(誤作動 による出勤回数)		18%/月	16%/月	17%/月	1%増加	△
水使用量 (総排水量)		376 m ³	368.48 m ³ (2%削減)	441 m ³	73 m ³ 増加 (+20%)	×
グリーン購入 (事務用品購入 に係る割合)		2%	4%	3%	1%不足	○
会社周辺の 清掃活動		H28.4・11 清掃実施	年2回 (上期1回 下期1回)	H29.4清掃 実施	—	×

※評価 ◎ … -10%以下 ○ … -10%未満～0%以上
 △ … 0%未満～+10%以下 × … +11%以上

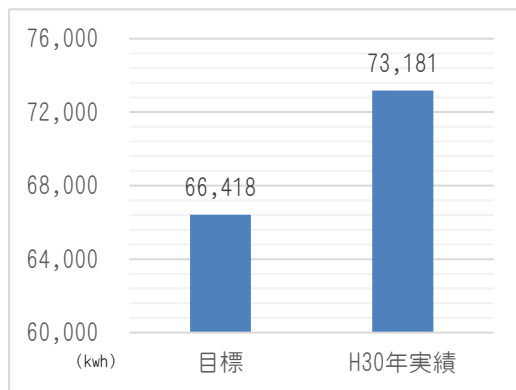
6-1. 二酸化炭素排出量

1) 全体（目標：H28年実績から3%削減）



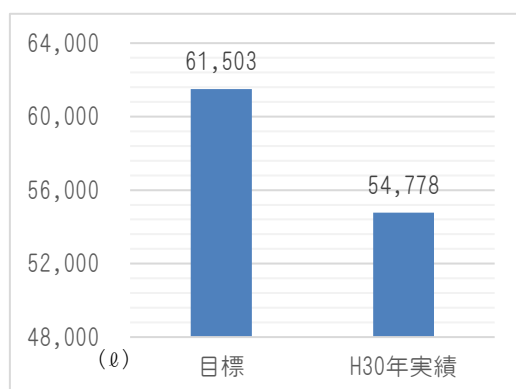
H30年実績 6%(11,467 kg-CO2)減少
 二酸化炭素排出量の大部分を占めるガソリンの使用量が 6,725ℓ 削減できたことにより、今年度は 6%削減と目標を達成することができました。
 ＊電力の二酸化炭素排出係数は、平成 27 年度東北電力 (0.559) を用いました。

2) 電力（目標：H28年実績から3%削減）



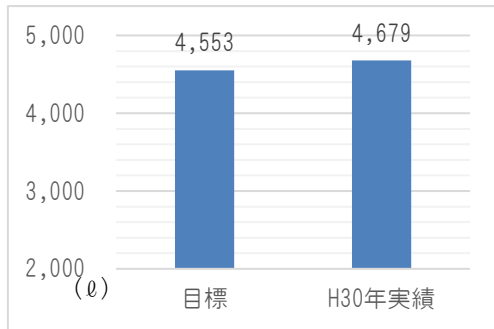
H30年実績 10.2%(6,763kwh)増加
 目標値がビルメン事業部の移転前の数値を基準にしていたため、大きく増加してしまったものの、昨年の実績に対しては 4%増加に留まっています。
 増加の要因としては、社員の人数が増えたこと、本社を使用しての教育やミーティングが増えたことにより、電気使用量が増加しました。

3) ガソリン（目標：H28年実績から3%削減）



H30年実績 11%(6,725ℓ)削減
 今年度は車両入替を 4 台行い、ハイブリット車はうち 1 台のみですが、残り 3 台も以前より燃費の良い車両が導入されました。また、日々エコドライブを推奨しガソリン使用量が大きく削減できました。

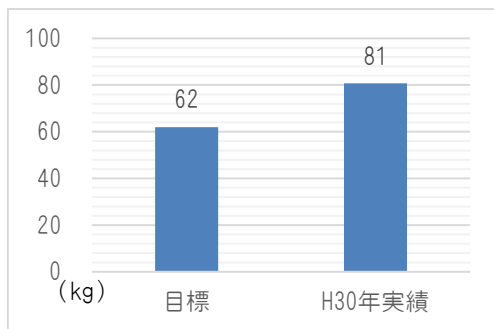
4) 灯油 (目標: H28 年実績より 3%削減)



H30 年実績 3%(126l)増加

目標値には届きませんでした。今年度は暖冬の影響もあり、昨年度の使用量 5,741l に比べると使用量を大幅に抑えることができました。

5) L P G (目標: H28 年実績から 3%削減)

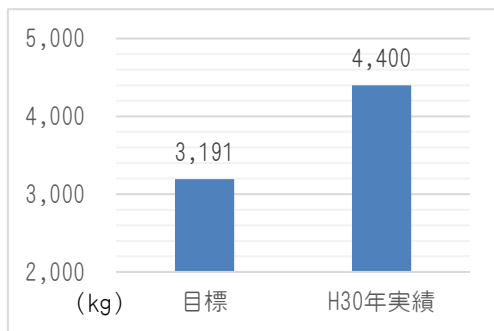


H30 年実績 30%(18.7 kg)増加

目標値がビルメン事業部の移転前の数値を基準にしていたため、大きく増加してしまったものの、昨年実績に対しては 4.7 kg 削減となりました。

6-2. 廃棄物排出量

1) 一般廃棄物 (目標: H28 年実績から 3%削減)

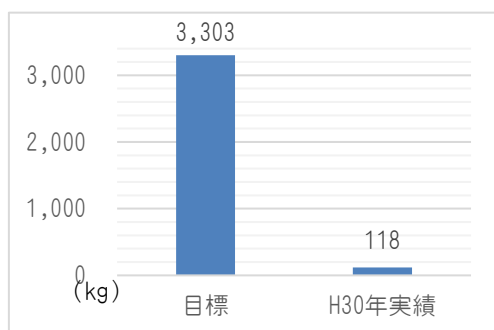


H30 年実績 38%(1,209 kg)増加

目標値に対して増加となりましたが、H29 年実績 4,727 kg と比較すると 327 kg 減少となりました。

排出量のうち 2,982 kg (約 68%) はリサイクルでの排出となっています。

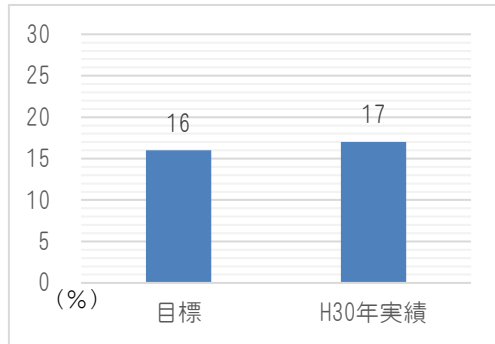
2) 産業廃棄物 (目標: H28 年実績から 3%削減)



H30 年実績 96%(3,185 kg)削減

目標を大きく下回る結果となりました。昨年度実績 263 kg に比べても半分以下の排出量となりました。分別に対する意識付けがなされてきた結果であります。

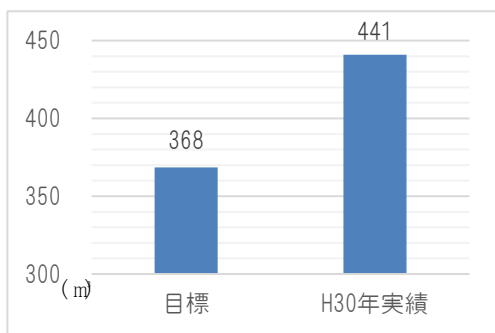
6-3. 誤報率（誤作動による出勤回数）（目標：昨年実績から2%削減）



H30年実績 17% (達成ならず)

目標達成に至らなかったものの、警備機器や交換を日常業務としてこまめに活動した結果、17%に留めることができました。

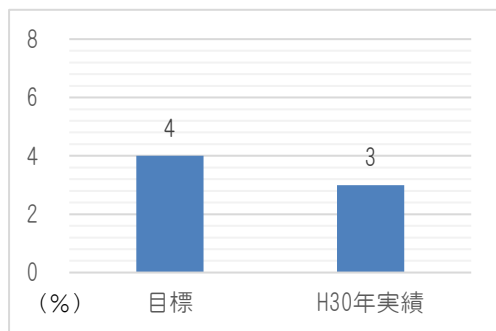
6-4. 水使用量（総排水量）（目標：昨年実績から2%削減）



H30年実績 20% (73 m³) 増加

増加の大きな要因として、社員の人数が増えたことや、本社を使用している教育やミーティングが増えたことにより、トイレの使用や飲料としての使用量が増えたことがあげられます。

6-5. グリーン購入（目標：事務用品に係る購入の割合4%/月）

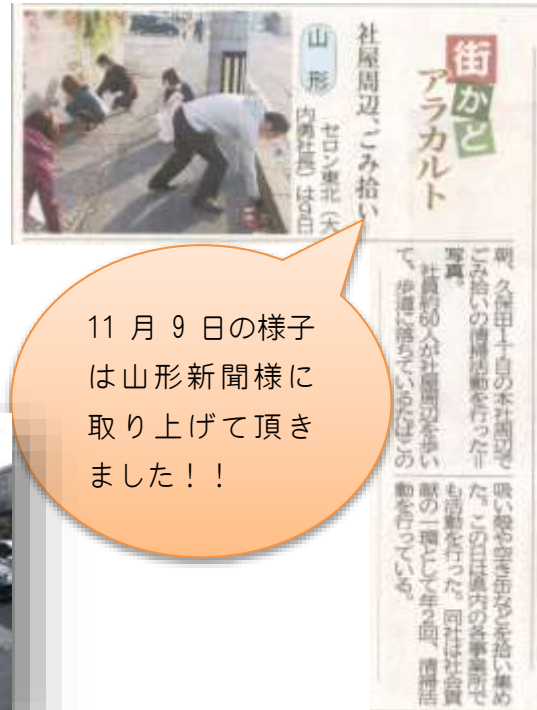


H30年実績 3% (達成ならず)

定期購入する物をグリーン購入法適合商品への切替見直しを行わなかったため、達成することができませんでした。

6-6. 会社周辺の清掃活動（目標：半年に1回、年2回の清掃実施）

半年に1回年2回の清掃目標に対して、7月10日と11月9日の2回清掃実施を行いました。



11月9日の様子は山形新聞様に取り上げて頂きました！！

6-7. その他活動

1) 社内報の発行

平成30年度は「セロン社内報」の発行がスムーズに行えず、活動が滞ってしまいました。現在は対象範囲が本社及びビルメン事業部ですが、エコアクションの対象を全社に広げる際に有効に活用できるよう、来年度は定期的に発行させていくように体制を整備していきます。

2) 山形スマートドライバー

山形県安全運転管理者協会スマートドライバーに参加しており「人にやさしく思いやりを持った運転」を心掛け、日々安全運転を行っております。また、秋頃には当社から選ばれた社員による100日間無事故無違反達成を目標とする「無事故無違反チャレンジ100」への参加も予定しております。今後もエコでスマートな安全運転を行ってまいります。

3) 山形エコアクション21

平成29年3月9日より「山形エコアクション21」の認証を受け、取り組んで参りました。取組内容については、新たな項目を取組に入れ込むことがなかなか難しい部分がありますが、できることから行って参ります。

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

7-1. 環境活動計画の取組結果とその評価

◎ … 十分に取組んだ ○ … ある程度取組んだ
 △ … やや不十分 × … 不十分

	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
二酸化炭素	■ 電力使用量の削減	■ 不要な照明の消灯	○
		■ 不要な蛍光灯を外す	◎
		■ PCディスプレイを省エネモードに設定	◎
		■ 暖房の温度管理（20℃）	△
		■ OA機器・家電製品の待機電力の削減	○
	■ ガソリン軽油使用量の削減（燃費の向上）	■ エコドライブの実践	○
		■ タイヤ空気圧の定期的なチェック・調整	◎
		■ 5000 km毎にオイル交換、10000 km毎にエレメント交換の実施	◎
		■ 運転日報で運行記録を把握する	◎
	■ その他化石燃料の削減	■ ハイブリット車の積極的な導入	○
■ 暖房（ストーブ）の温度設定（20℃）		◎	
■ 暖房のスイッチをこまめに切る		○	
廃棄物	■ 一般廃棄物の削減（リサイクルの推進）	■ 暖房のスイッチをこまめに切る	○
		■ 分別のルールの周知徹底	○
		■ 分別を徹底し、リサイクル率を上げる	○
		■ コピー用紙の両面使用	◎
		■ コピーカウンター記録と管理	◎
		■ 使用済み封筒の再利用	◎
	■ リサイクル製品・グリーン製品の優先購入	△	
■ 産業廃棄物の適正管理	■ 正しく分別されているかのチェック	○	
■ マニフェストの管理	○		
サービス	■ 誤報率（誤作動による出動回数）	■ 会議（部長会・業務会議）での呼びかけ	◎
		■ 誤報に関する報告書の作成・提出	◎
		■ 警備機器の点検、不良・不具合箇所の早期交換	◎
水	■ 水道使用量の削減	■ 節水ポスターの貼り付け	○
		■ 洗車方法の見直し	○
グリーン購入	■ 購入率の向上	■ 事務所周辺のゴミ拾い、側溝清掃、草刈などの実施	△
		■ エコマーク商品を優先的に購入する	△
山形EA21関連	■ 清掃活動	■ 事務所周辺のゴミ拾い、側溝清掃、草刈などの実施	○
	■ 社員への呼びかけ	■ 普段からエコバック、マイ箸・水筒等エコ活動の推奨	○
		■ エコについてポスターの掲示による推進活動	○

7-2. 次年度の取組内容

■二酸化炭素の削減	■暖房の温度管理（20℃）の見直し
	■社用車のハイブリット車優先的導入
	■社員へのエコドライブの意識教育
■廃棄物の削減	■分別のチェック体制の確立
	■分別ルールの継続的指導
■水道使用量の削減	■洗車方法の書面での指導
■グリーン購入	■定期購入品のグリーン購入拡大
■社会貢献	■清掃活動の実施
	■環境活動への積極的参加
■是正・予防処置	■本社・ビルメン事業部の内部監査実施
	■村山ブロック（天童・寒河江・村山）への活動拡大

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

環境関連法規等の名称	遵守すべき内容	遵守状況
消防法、山形市火災予防条例	危険物貯蔵(灯油 200ℓ以上)の届出、標識・掲示板設置	H20.2届出
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	適正な処理、保管基準、委託基準、処理状況の確認、契約書締結、マニフェスト交付状況・県への報告 など	一部に問題有り※
フロン排出抑制法	該当製品の定期点検	3ヶ月に一度点検
自動車リサイクル法	再資源化の適正な実施	排出無
家電リサイクル法	適正な再資源化・処分の実施	排出無
水質汚濁防止法	応急措置を講ずるとともに事故状況の届出	該当無

※県へのマニフェスト発行実績報告書が期限までに提出されていなかったが11月6日付で提出済みである。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・ 誤報率に関し目標達成出来なかった率は大変残念な結果である。
誤報率＝経営課題であり、次年度は必ず目標達成するよう環境管理責任者に指示する。
- ・ 環境目標の実績及び評価についても「×」と「△」が非常に多く、取り組みが甘いと言わざるを得ない。
ガソリンに関しては今後もハイブリッド車を積極的に導入していく予定であり、一定の効果が出る事は予測出来るが、他の取り組みでガソリンを削減させる取り組みが必要である。
再度環境方針を周知徹底させると共に、すべての環境活動計画を更に噛み砕いて具体的に明示し、P D C Aで組織を機能させるよう指示する。
- ・ 今回は環境目標及び環境活動計画に関しては変更が必要と判断するが、環境方針及び環境経営システムに関しては引き続き継続して行くこと。
更なる向上に向けて取り組みを強化して行くこと。

代表取締役 大内 勇

Security Region
SERON

株式会社セロン東北

守りたい笑顔があります。

経営理念

お客様と時代が求める
あらゆる安全システム、情報サービス、
環境管理サービスの提供に挑戦します。

お客様の生命と財産を守り、
豊かで安心できる地域社会を創ります。

一人一人を尊重し、
活力と誇りのある職場を創り、
物心両面の幸福を追求します。

地域に密着した安全をつくる。

セロン(SERON)とは・・・

Security Region よりの造語
Security【安全、保安、防犯】
Region【地方、地帯、地域、地区】

セロン東北は地域を広く包括的にとらえ、
Eagle Eye【炯眼＝優れた物事を見抜く力】
をもって、時間を問わず「地域に密着した
安全と環境管理システムを提供」して皆様
の安全と安心、幸福を守って参ります。